

授業コード	JP12810010	開講年度・学期	2019年度前期
科目授業名	商法理論の展開		
英語科目授業名	Recent Developments in Commercial Law		
科目ナンバー	JAEPR9916	必修・選択	自由選択
単位数	2単位	授業形態	講義
担当教員氏名 (代表含む)	小柿 徳武		
科目の主題	商行為法および会社法（資金調達・組織再編など）		
授業の到達目標	商行為法の分野については、商法の条文にそって基礎的な概念を確実に把握することとともに、理論的・実務的に重要性の高い判例について基本的な枠組みを理解することを到達目標とする。会社法の分野については、これまで修得した知識を、条文に立ち戻って再確認するとともに、諸制度を横断的に比較することにより、具体的な事案に即しつつ、法規制の趣旨を確実に把握することを到達目標とする。		
授業内容・ 授業計画①	<p>講義にあたっては、予習用レジュメにそって標準的な概念および重要判例等を確認するとともに、知識の定着度合いを確認するため、適宜、質疑応答を通した双方向の授業を行う。</p> <p>第1回：普通取引約款、商行為総則（総論） 第2回：商行為総則（商行為一般に適用される規定など） 第3回：商行為総則（当事者双方が商人である場合に適用される規定）、商事売買、補助商総論 第4回：代理商、仲立営業、問屋営業 第5回：運送営業、倉庫営業 第6回：場屋営業、金融取引（交互計算、匿名組合） 第7回：株式（総則、株式の譲渡など） 第8回：株式（株式の併合など） 第9回：募集株式の発行等、新株予約権、社債 第10回：組織再編（総説、簡易手続など） 第11回：組織再編（買取請求権、債権者異議手続など） 第12回：組織再編（差止めおよび無効など） 第13回：金融商品取引法の規制 第14回：企業買収と買収防衛策 第15回：期末試験</p>		
事前・事後学習 の内容	授業の約1週間前に、次回のレジュメをMoodleにアップロードする。必ず事前に内容を確認し、予習を行った上で、授業に臨むこと。また、授業後は、内容を整理し、関連する条文等について再確認して、知識の定着を図ること。		
評価方法	絶対評価 質問や討論など演習への参加状況を20%、期末に課す試験の結果を80%の割合として評価する。		
受講生へのコメント	会社法分野においては、予習の際に条文の確認を怠らないようにして下さい。		
教材	<p>商行為法分野については、予習用テキストの一つとして、森本滋編『商行為法講義〔第3版〕』（成文堂、2009）を挙げるほか、判例集として、江頭＝山下編『商法（総則商行為）判例百選〔第5版〕』（有斐閣、2008）を使用する。</p> <p>会社法分野については、判例集として、岩原紳作＝神作裕之＝藤田友敬編『会社法判例百選〔第3版〕』（有斐閣、2016）を使用する。参考文献として、江頭憲治郎『株式会社法〔第7版〕』（有斐閣、2017）などを指定する予定であるが、公刊状況により変更する可能性がある。</p>		